

4月1日付で事務局長が交代しました

前任の和田です

3年と1ヶ月の出向任期を終え、奥村組に戻りました前事務局長の和田洋です。

在任中は会員の皆様を中心に多くのご支援をいただきましたおかげで、なんとか無事に任務を終えることができ、感謝している次第です。

思い起こせば3年前になりますが、英語もできないとわかっていながら、事務局長としてJSTTからご指名を受けたときには、ただ単純に受諾を即答してしまいました。よほどJSTTの仕事には明るい希望と憧れを持っていたものだと思います。



す。しかしながら着任早々、業務は多忙でした。5月末に開催されたNo-Digコペンハーゲンの準備はもとより、帰国後すぐに行わなければならない総会の準備など、これまでに味わったことのない業務に目を回していました。それにもまして、協会の運営資金が乏しく、今だから明かせますけど当年度（14年度）を越せるかどうか真剣に悩んだものです。

とにかくわからない仕事ばかりで頭の痛いことも多かったのですが、なんとか1年を過ごすことができました。そうすれば2年目は慣れたもので、機関誌の編集体制を変更し、季刊機関誌「No-Dig TODAY」の刷新を皮切りに、パンフレット作成、HDD工法普及促進検討会設立、工法ナビゲーションシステム運営開始など等、面白く仕事させていただきました。

これもひとえに松井会長、遠山名誉会長、石川副会長らの温かいご支援をいただいた結果と感謝しています。また、毎日一緒に顔をあわせながらも大きな喧嘩もなく、英語はもちろん、事務一般からコーヒー入れまで近藤さんにはお世話になりました。

また、このような立派な機関誌を手弁当で協力いただいています編集委員（小委員）の皆様と出版していただいている（株）LSプランニングの皆様にはお世話になりました。

なんだか、異動の挨拶が感謝の挨拶に変わってしまいましたようですが、これからもますますJSTTが「道路を掘らない環境にやさしい技術」の情報発信元として機能していくことを森田新事務局長に託し、ご挨拶とさせていただきます。

今後はこのJSTTでのさまざまな経験を、新しい仕事に生かしていきたいと思います。皆様ありがとうございました。

新任の森田です

前任の和田さんと同じ会社から後任として参りました森田です。私も和田さんと同じ機械屋として推進・シールド現場を経験し、その後は店内の機械部で十数年間、現場支援や技術開発、シールド・推進工法の施工計画・設計・積算業務などに携わってきました。

JSTTとの関わりは、93年のNo-Digバーミンガムに遠山名誉会長に同行させていただき、小口径管推進工法での推進力に関する検討のお手伝いをさせていただきました。また、お隣りの下水道管渠推進技術協会では、現在まで小口径管部会で活動させていただき、設計積算要領の編纂などに携わらせていただきました。和田さんとは友人ですのでJSTTにはちょくちょく遊びに来させていただいておりましたが、事務局長として働かせていただくことになるとは…運命的なものを感じます。

和田さんは赴任当時より財政的なことも含めたいへんご苦労をされ、その後工法ナビやHDD工法委員会など新事業を立ち上げ、ようやくそれらが軌道に乗ったところと伺っています。後任としては、大変よい状態で引継がせていただき幸せなことです。和田さんの努力を無駄にせず、新規事業やJSTT全体をより発展させることへの責任を大いに感じるところです。

4月に業務引継ぎをして最初の大イベントは理事会・総会です。初体験の仕事ばかりで戸惑いも多いのですが、松井会長、

遠山名誉会長、石川副会長や和田前事務局長からの適切なアドバイスや、下水道管渠推進技術協会などの活動を通じての知り合いの方、また協会メンバーほかの皆様の温かいご支援もあり、微力ながら頑張っていく自信が湧いてきたところです。

私事です。今、趣味として燻製作りにはまっております。協会には、手作りハム、ソーセージの味見がてらお気軽にお立ち寄りくだされば幸いです。

皆様には、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

